

# モニタリング結果報告書 (令和元年度)

## 1. 施設概要

施設名	県民ホール（本館・神奈川芸術劇場）、音楽堂		
所在地	県民ホール本館：横浜市中区山下町3-1 神奈川芸術劇場：横浜市中区山下町281 音楽堂：横浜市西区紅葉ヶ丘9-2		
サイトURL	県民ホール本館： <a href="https://www.kanagawa-kenminhall.com/">https://www.kanagawa-kenminhall.com/</a> 神奈川芸術劇場： <a href="https://www.kaat.jp/">https://www.kaat.jp/</a> 音楽堂： <a href="https://www.kanagawa-ongakudo.com/">https://www.kanagawa-ongakudo.com/</a>		
根拠条例	県民ホール本館：神奈川県立県民ホール条例 神奈川芸術劇場：同上 音楽堂：神奈川県立音楽堂条例		
設置目的(設置時期)	県民ホール本館：県民の文化芸術の振興及び福祉の増進を図るため (昭和50年1月) 神奈川芸術劇場：同上(平成23年1月) 音楽堂：県民の音楽芸術の振興及び福祉の増進を図るため (昭和29年11月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川芸術文化財団		
指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31 (2016年) (2021年)	施設所管課	文化課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>(一体としてのコメント)</p> <p>令和元年度実績では、3館合同プロジェクトとして、オープンシアター2019の実施や芸術監督プロジェクトの準備作業など、提案書に基づき神奈川県立県民ホール本館、芸術劇場及び音楽堂の3館一体による運営が行われている。令和元年度は、音楽堂が改修工事のため、前年に続き、4月から5月までの2か月間を休館とした。</p> <p>■県民ホール(本館・神奈川芸術劇場)について</p> <p>令和元年度は、県民ホール及び神奈川芸術劇場ともに、提案に基づき適切に管理運営が行われている。また、施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、本館・芸術劇場ともに、前年度の利用者数を下回った。利用者アンケートは、本館・芸術劇場ともに、不満と評価した意見はなかった。事故・不祥事等については、数件見受けられたが、県への報告が迅速に行われ、その後記者発表を行うなど、業務については適切に行われていた。結果、利用状況はB評価となったが、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったことから、3項目評価はA評価となった。今後も、引き続き適切な管理運営に努めていく。</p> <p>■音楽堂について</p> <p>令和元年度は、平成30年4月から令和元年5月末まで、改修工事に伴う長期休館となったが、提案に基づき適切に管理運営が行われている。音楽堂も新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用者数は目標値を下回った。利用者アンケートでは、不満と評価した意見はなかった。また収支状況では、収支比率100.02%とほぼ当初予算通りの収支となった。結果、利用状況はB評価となったが、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったことから、3項目評価はA評価となった。今後も、音楽堂の持つソフトやノウハウの普及に努め、引き続き適切な管理運営に努めていく。</p>

<各項目の詳細説明>

■ 県民ホール(本館・神奈川芸術劇場)について

令和元年度は、平成30年度に引き続き県民ホール本館、芸術劇場及び音楽堂と連携した3館一体の事業として、6月にはオープンシアター2019、1月には芸術監督プロジェクトを実施した。

◆ 利用状況

県民ホール本館は、目標値を654,000人としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響等もあって利用者数は560,777人に止まり、利用者数の目標達成率は85.7%となった。一方、芸術劇場は、開館から9年目を迎え、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響等により、前年度の利用者数は下回ったものの、利用者数の目標達成率は119.2%となり、2館合計では目標値854,000人に対して、799,259人となり、利用者数の目標達成率が93.6%となったためB評価とした。

◆ 利用者の満足度

県民ホール本館及び芸術劇場は12月に実施し、2館の合計で、上位2段階の回答割合が100%となったためS評価とした。回収率は53.8%となった。回収率については、使用申込時にアンケートを直接手渡すなどの対応を継続したため、前年度の回収率18.2%から大きく上昇している。

◆ 収支状況

県民ホール本館が収支比率100.41%、芸術劇場も収支比率100.62%とともに当初予算を上回り、2館を合わせた収支比率は100.53%となったため、A評価とした。

◆ 苦情・要望等

県民ホール本館では、空調機や喫煙場所の改善、バリアフリーに関するハード面での意見が寄せられた。空調機については修繕を行い、喫煙場所についても改修を実施し、対応を行っている。また、芸術劇場では、案内係の対応や公演中止に伴うチケットの払戻しについて、意見が寄せられた。案内時の対応については、幅広い視野を持って対応を行うように係員を指導した。また、チケットの払い戻しについては、チケットシステム会社と調整し、迅速に処理できるシステムを整備した。

◆ 事故・不祥事等

県民ホール本館では、令和元年12月10日に、大ホールの天井裏に設置されているキャットウォークから、外部スタッフが転落する事故が起こった。幸い命に別状はなく、公演終了後だったため、他のけが人はなかったが、翌日の公演は一部客席エリアを封鎖して実施された。天井破損部分の補修については、公演主催者の負担となったが、労働基準監督署から指摘を受けたキャットウォークの棧については、令和2年度に県が改修工事を行う。その他に、令和2年2月に県美展事務局から委員へメール誤送付があったが、速やかに委員に連絡をとり、第三者への漏えいを防ぐことができた。

◆ 労働環境の確保に係る取組状況

衛生推進者の選任等、法令に基づく手続きで労働基準監督署から指摘を受けた。

■ 音楽堂について

令和元年度は、平成30年度に引き続き県民ホール本館、芸術劇場及び音楽堂と連携した3館一体の事業として、6月にオープンシアター2019を実施した。

◆ 利用状況

音楽堂は、改修工事に伴う2か月間休館の影響のため、目標値が138,333人となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、利用者数の目標達成率は91.0%に止まったためB評価とした。

◆ 利用者の満足度

音楽堂は12月に実施し、上位2段階の回答割合が100%となったためS評価とした。回収率は35.3%となっており、引き続き、利用者幅広く回答してもらえるように、使用申込時にアンケートを直接手渡すなどの対応を継続し、回収率の向上に努める必要がある。

◆ 収支状況

音楽堂の収支比率は100.02%で当初予算を上回ったため、A評価とした。

◆ 苦情・要望等

音楽堂では、主催公演の当日券が現金のみの取扱であることに不満の意見が寄せられたが、当日券の支払いをチケットカウンターでクレジット払いできるように、対応フローを整備した。指定管理者に起因する事故等はなかった。

◆ 労働環境の確保に係る取組状況

衛生推進者の選任等、法令に基づく手続きで労働基準監督署から指摘を受けた。

3項目評価			S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
	<参考> 県民ホール	<参考> 音楽堂	
A	A	A	

【神奈川県立県民ホールについて】

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月3～4回	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>1. 一体運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3館の役割、機能を踏まえて、各施設を運営する。</li> <li>・音楽分野と演劇分野、それぞれに芸術監督を置き、その指導のもと神奈川からの芸術文化の創造・発信を強化する。</li> <li>・県や関係機関と一体となって東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、文化プログラムを推進する。また、子ども・青少年に次世代へ文化芸術の豊かさや多様性を伝えていく。</li> <li>・3館一体で効率的かつ効果的な施設運営を行い、利用者サービスの改善と、利用率の維持・向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜開港祭周辺の都心臨海部の賑わいに合わせた「オープンシアター」は、3館で様々な公演や参加・体験型企画を実施し、3館合計で、4,599人の来場者を迎えた。3館を面的にとらえ、施設を街へと開く事業展開で県民に向けた芸術文化の普及啓発や多彩な芸術との出会いを提示するとともに、外国人や障がい者等への鑑賞支援を推進した。(詳細は各館普及事業に記載)</li> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関し、全主催事業に、県の文化プログラム認証を受け、また、beyond2020も国の補助金を受けた事業に関し認証を受けることで、オリパラに向けて文化芸術面で機運醸成に貢献した。また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとなるよう、3館すべての共通ロビーやホールロビー等に、障害を持つ方や日本語を母語としない方、外国人観光客等が必要な情報を自由に入手することができるよう、誰もが使えるWi-Fi環境を整備した。</li> <li>・3館一体では、県民ホール、芸術劇場及び音楽堂のそれぞれの特性を生かした貸館事業を行い、県民の方へ主催事業だけではなく、芸術分野の鑑賞機会を提供するとともに、発表の場として利用していただく施設運営を行い、高い利用率を維持している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に関する県からの通知に従った主催事業等の中止、貸館催しの自粛依頼により、3月は多くの催し物が中止または延期された。これにより、年間の利用率に影響があった。</li> <li>・県民ホールの大ホールは、年間の利用率89.3%の見込みだったが、3月の利用が1件となったことから年間利用率は81.3%に止まった。また、芸術劇場のホールは3月の取消しが1件だったことから年間の利用率は97.8%と高い数字を維持した。</li> </ul>	

<p>2. 適切な管理運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料収入増及び経費の節減に努めるとともに、サービスの向上に取り組むなど適切な管理運営に努める。</li> <li>・また、防犯、防災対策、安全対策にも取り組んでいく。</li> </ul>	<p><b>【利用料収入の増の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ホール本館は、年間を通した主共催と貸館の効率的なスケジュール調整により、安定した利用料収入を維持している。</li> <li>・芸術劇場は、一昨年から引き続き、およそ6ヶ月の長期貸館利用の誘致により、利用料収入が増となった。</li> </ul> <p><b>【経費節減の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理においては、主要な委託業務を近接する県民ホール本館と芸術劇場で一体的に運用することで効率化し経費節減を図った。</li> <li>・Wi-Fi環境整備は、3館全体で契約、運用することで効率化と経費節減を同時に図ることが出来た。</li> <li>・チケットセンターにおいては3月に多数の主催事業公演の払戻しが発生したが、委託先であるチケットシステム会社との調整に関し、3館一体での大口顧客として、有利な条件（節減効果のある払戻し方法の活用）を可能とすることが出来た。</li> </ul> <p><b>【防犯・防災・安全対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に県民ホール及び芸術劇場で催し物の最中に地震や火事が発生したと想定して、お客様とスタッフが一緒に行う避難訓練及び手荷物検査の実施を準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための主催事業の自粛依頼があったため中止した。翌年度以降にあらためて実施する。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染防止のため、館内のアルコール消毒液の設置、マスク着用、来場者への注意喚起や次亜塩素酸による消毒、換気の実施や、利用手続の感染防止対策を図り、利用手続については、来館によらない方法を探り、利用者、来館者の感染防止に取り組んだ。来場者及び利用者の感染防止を図った。</li> </ul>	
---	--	--

<p>3. 自主的な企画事業について</p> <p>【県民ホール本館】</p> <p>●芸術文化創造振興事業</p> <p>1 大ホール事業</p> <p>○国際的な水準を満たす多彩で良質な芸術文化を創造するとともに、県民により多くの鑑賞機会を提供する。</p> <p>○芸術総監督のディレクションによる新しい表現の追求と意欲的な芸術文化を創造発信する。</p> <p>2 小ホール事業</p> <p>日本の公共ホールで最初に設置されたオルガンを活用した事業や、舞台芸術に関する講座を実施するほか、実験性の高い先鋭的な企画を実施し、近隣の類似音楽ホールとの差別化を図った事業を展開する。</p> <p>3 ギャラリー事業</p> <p>県との共催で「神奈川県美術展」を開催。</p> <p>気鋭の現代美術作家の個展、又は若手作家のグループ展を開催することで、優れた現代美術の紹介に努める。</p>	<p>1 大ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ホールが代表館となり、愛知、札幌の劇場と連携して行う共同制作オペラ『カルメン』（全国3カ所6公演）、5つの関連企画ともに2公演を実施した。</li> <li>・共催による英国ロイヤル・オペラ、バレエの招聘公演のほか、海外で活躍する日本人ダンサーを招聘したバレエプロジェクトを支援し、県内バレエの活性化を図り、県民に多彩で幅広い鑑賞・参加の機会を提供した。</li> </ul> <p>2 小ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一柳慧芸術総監督プロデュースによるフラックス弦楽四重奏団のコンサートとして、本公演だけではなくシンポジウムなどの関連企画も開催し、約2週間のミニ・フェスティバルを実施した。</li> </ul> <p>パイプオルガン公演は、作曲委嘱や打楽器との共演を交えたりサイトを開催した。</p> <p>3 ギャラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やなぎみわの約10年ぶりとなる大規模個展「やなぎみわ展 神話機械 MIWA YANAGI : Myth Machines」を、空間をいかしたライブパフォーマンスやアーティストトークといった内容で公立美術館との連携により開催した。</li> </ul> <p>[主催事業] (ホール事業) [5事業/7演目8公演・7企画9回 入場者数6,806人] (ギャラリー事業) 2事業/1演目2公演・4企画7回・3 展覧会 入場者数7,846人</p> <p>[共催事業] [22事業/25演目29公演・1企画2回 入場者数31,721人] ギャラリー 2事業/2展覧会 入場者 数2,182人</p> <p>*新型コロナウイルス感染症拡大防止のための県からの依頼に従い、3月20日「松山バレエ団『新白鳥の湖』」1事業が中止となった。</p>	
<p>●芸術文化鑑賞普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の芸術文化に対する関心、理解を更に深め、新しい芸術文化の世界を紹介することを目的にオルガン・プロムナードコンサート、オープンシアター、ワンコイン・コンサート、舞台芸術講座を実施する。</li> <li>・外国人、障がい者、高齢者、子どもたち等の多様な人々が、芸術文化の鑑賞機会を広く得られるよう様々な事業を提供する。</li> <li>・舞台芸術に対する垣根を低くし、興味・関心を喚起する。</li> <li>・人々が芸術に触れ親しみをもち、劇場が地域に開かれ交流の場となる。</li> <li>・鑑賞普及事業として、県域での巡回公演を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3館合同プロジェクト「オープンシアター2019」は、地域に開かれた劇場をコンセプトに、家族で楽しめる様々な公演と体験型企画を低価格又は無料で、大小ホール、ギャラリー等の全館で実施した。</li> <li>外国人、障がい者等の多様な県民の方々に楽しんでいただけるよう、継続して下記の取組を実施した。</li> <li>多言語対応：公益財団法人かながわ国際交流財団と連携し、4カ国語によるサポート体制、通訳の配備、多言語表示、カゲアナウンスを実施。</li> <li>手話対応：神奈川県聴覚障害者福祉センター協力による手話通訳の配置、手話ワークショップの実施</li> <li>視覚障害者向け：公演内容の事前ガイドランス（小ホール）</li> <li>0歳児から入場可</li> </ul> <p>[主催事業] [6事業/12演目15公演・5講座5回・10 企画15回・1展覧会 入場者数7,796人] *新型コロナウイルス感染症拡大防止のための県からの依頼に従い、3月7,21日の「舞台芸術講座」、3月17日のプロムナードコンサートが中止となった。</p>	

<p>●人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の芸術文化振興と創造発信力の向上を担う人材を養成する。</li> <li>・文化芸術の拠点施設の特性を活かし、未来の芸術文化活動の担い手となる実演家を養成する。</li> <li>・施設運営に関する課題や解決策を、県内の他の文化施設と共有することで全体のレベルアップを図る。</li> <li>・県内や近郊の音楽大学、美術大学等と連携した事業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティスト養成、劇場運営マネジメント人材育成、劇場インターン（公演制作）の3本柱で、県民ホールの公演制作や施設運営のノウハウを活用し、各分野のプロフェッショナルの育成を目指し実施した。</li> <li>・大学連携事業としては、東京音楽大学と連携し、将来、演奏家や制作者を目指す学生に対して、劇場という実際の制作現場で直接指導を受ける機会を提供して実施した。</li> </ul> <p>[2事業/10企画16回 参加者数103人] *新型コロナウイルス感染症拡大防止のための県からの依頼に従い、3月10日「劇場運営マネジメント講座」が中止となった。</p>	
<p>●国際芸術交流創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館以来、国際交流基金、横浜市等と共同で実施している「国際舞台芸術交流ミーティング（TPAM）」を継続して実施し、海外の芸術家等との国際共同制作に取り組み、これらの活動の集大成として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせて国際的な舞台芸術フェスティバルを開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020では、芸術劇場を中心に横浜市内の施設と連携し、国際的なコンテンポラリー・パフォーマンスに関する情報交換やプレゼンテーション、公演事業を実施した。</li> </ul> <p>[主催事業] 1事業/8演目20公演入場者数2,584人</p>	
<p>●県民創造支援事業</p> <p>県域の文化芸術の拠点施設としての役割を踏まえ、県が文化施策として推進するマグカル事業に対して会場提供等の協力を行うとともに、県内で活動する劇団等の作品づくりを劇場の制作・技術スタッフがサポートすることにより、県民の芸術創造活動の水準向上と活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マグカル事業の「マグフェス'20かながわ短編演劇アワード2020」は、新型コロナウイルス感染症の影響から、無観客上演となったが、上演及び審査を実施。神奈川演劇連盟主催のTAK in KAAT「パーマ屋スマイル」公演においても、運営、技術的な支援などを通じて、イベントの質の向上に寄与した。</li> <li>・障がいや年齢、性別などにかかわらず、全ての人が楽しむことを目指した共生共創事業を受託し、海外招聘の公演やワークショップを行い、共生共創社会の実現に寄与した。</li> </ul> <p>[提携公演] 10事業11演目78公演 入場者数10,046人</p>	

<p>●芸術文化普及・人材育成事業      神奈川の舞台芸術の活性化には、芸術創造に関わるプロフェッショナルな人材が不可欠である一方、演劇、舞踊等に高い関心を持ち、日常的に公演に足を運ぶ観客を増やしていくことが必要ことから、創造型劇場としてのノウハウを生かして、専門的な能力をもつ人材の育成や舞台芸術の普及等に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KAATキッズ・プログラム2019では、気鋭の演出家・山本卓卓を迎え映像を駆使した新作「二分間の冒険」を創作、海外招聘による質の高い子供向け作品「L00」ほか2演目を実施し、ワークショップや関連企画も含め、3,981人の入場者を迎えた。</li> <li>・平成30年度に制作した「グレーテルとヘンゼル」の全国ツアー及び「キッズ・オータム・パーティー」の高知公演を実施した。</li> <li>・入場無料のSHIRAI's CAFÉは、シリーズ化し、芸術監督の白井晃がゆかりのある音楽家をゲストに迎え、イベントを実施した。</li> <li>・バックステージツアー2019（3回事業数に含まず）と「二分間の冒険」関連企画夏休みスペシャルバックステージツアー（4回）を8月に開催し、合計209人が参加した。</li> <li>・舞台技術講座、劇場運営・舞台技術のインターン、横浜国立大学と連携した講座により、若手演出家、舞台技術専門スタッフ、大学生など、劇場での舞台芸術に関わる多様なジャンルの人材を育成。参加者は241人となった。</li> <li>・3年目となった「音で観るダンスのワークインプログレス」は、視覚障がい者のダンス鑑賞をサポートする音声ガイドの研究だけではなく、障がいの有無にかかわらずダンスを新しい観点から鑑賞する試みを行った。</li> </ul> <p>芸術文化鑑賞普及事業 [ 8 事業 / 5 演目 32公演・5 企画 7 回 入場者数4,304人 ]      人材育成事業 [ 1 事業 / 1 演目 1 公演・8 企画 10 回 参加者数241人 ]</p> <p>*コロナウイルス感染症拡大防止のための県からの依頼に従い、3月10日からの「舞台技術講座」、3月18、25日の「芝居の大学」、3月29日のSHIRAI's CAFÉが中止となった。</p>	
<p>●地域等連携事業      県域の拠点施設として県全域の文化芸術の振興を図るため、地域の公立文化施設等と連携した巡回公演等を行う。また、横浜市内の文化団体が主体となって実施する文化イベントや、近隣商店街による地域活性化イベントに対し積極的に参画、協力し、文化芸術を通じた地域の賑わいづくりに貢献する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県民ホール本館では、平成29年度の休館時から開始した県域での公演事業を継続し、南足柄地域や秦野市で家族向けオペラ公演を実施。橋本ではオペラ関連企画を、それぞれの地域の文化施設と連携して実施した。合計で1,495人の来場者を迎えた。</li> <li>・「神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議」が主催するバリアフリーフェスタかながわ2019に3年連続で出展し、県民ホールのこれまでのバリアフリー及びユニバーサルデザイン化の取組を紹介し、文化施設もバリアフリーの街づくりへ参加していることを知ってもらう契機となった。</li> <li>・芸術劇場では、青少年センターと共催し、「最貧前線」公演を実施。合計4回の公演で2,669名の来場者を迎えた。</li> <li>・市内のカルチャーセンターや書店主催による芸術劇場公演の関連企画を開催し、文化施設のみならず、地域と協力連携を図った。</li> </ul>	

<p>● 4. 事業の収支バランスの安定を図る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料以外の収入確保の取組を図る。</li> </ul>	<p>・広報宣伝・営業、チケット販売等の強化により事業収入の確保に努めるとともに、外部資金の獲得にも努め、収支バランスの安定を図った。</p> <p><b>【補助金・助成金獲得実績】</b> 文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〈劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業〉 1件 55,278千円</li> <li>〈地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業〉 1件30,056千円</li> <li>〈共同制作支援事業、劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業〉 2件78,344千円</li> <li>地域創造 地域の文化・芸術活動助成事業 3件 21,591千円</li> <li>芸術文化振興基金 地域文化施設公演・展示活動 1件 2,098千円</li> <li>その他民間助成団体 5件 2,250千円</li> <li>合計 13件 189,617千円</li> </ul> <p><b>【賛助会員・協賛金実績】</b> 〈賛助会員制度による寄付金〉 65者 6,450千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〈個別協賛〉（寄付型クラウドファンディングも含）54者 1,251千円</li> </ul> <p>令和元年度は、音楽堂開館65周年記念寄付金を募り、50者、1,015千円の支援を得た。</p>	
--	---	--

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
リフレッシュ・サービス	自主事業公演などの開催時に、劇場サービスとしてホール内ビュッフェやロビー等で飲食物販売を行った。

## 5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※県民ホール	200,164	575,680	560,777
利用者数※芸術劇場	267,667	283,981	238,482
対前年度比県民ホール		287.6%	97.4%
対前年度比 芸術劇場		106.1%	84.0%
目標値 県民ホール	163,250	545,000	654,000
目標値 芸術劇場	191,000	200,000	200,000
目標達成率 県民ホール	122.6%	105.6%	85.7%
目標達成率 芸術劇場	140.1%	142.0%	119.2%

目標値の設定根拠：

経営改善目標

利用者数の算出方法（対象）： 主催事業は指定管理者が確認、共催・提携・貸館事業は主催者からの報告による（対象者：施設への来館者、利用者）

注：令和元年度は、3月の新型コロナウイルス感染症の影響による利用の取消しのため、県民ホール本館はおよそ45,000人、芸術劇場はおよそ3,500人の入場者が減少した。



## 7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 県民ホール本館 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	565,936	99,350	78,894	備考のとおり	744,180	744,180	0	
	決算	565,936	105,926	86,813	備考のとおり	758,675	713,536	45,139	106.33%
前年度	当初予算	617,303	228,208	405,813	備考のとおり	1,251,324	1,251,324	0	
	決算	617,303	238,339	391,389	備考のとおり	1,247,031	1,200,400	46,631	103.88%
令和元年度	当初予算	634,357	252,000	324,014	備考のとおり	1,210,371	1,210,371	0	
	決算	634,357	234,979	300,259	備考のとおり	1,169,595	1,164,797	4,798	100.41%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 0 前年度 / 0 前々年度 / 0

<備考>

【その他収入の内訳】

(前々年度・当初予算) 事業収入：38,719、立替収入：6,625、補助金等収入：31,300、寄付金収入：1,900、他事業繰入金収入：350

(前々年度・決算) 事業収入：48,900、立替収入：4,803、補助金等収入：29,362、負担金収入：200、寄付金収入：1,900、雑収入：298、他事業繰入金収入：350、特定資産取崩収入：1,000

(前年度・当初予算) 事業収入：94,000、立替収入：16,467、補助金等収入：129,200、負担金収入：130,000、寄付金収入：2,000、他事業繰入金収入：4,146、特定資産取崩収入：30,000

(前年度・決算) 事業収入：95,492、立替収入：11,824、補助金等収入：110,946、負担金収入：126,864、寄付金収入：1,917、雑収入：146、他事業繰入金収入：4,146、特定資産取崩収入：40,054

(令和元年度・当初予算) 事業収入：84,695、立替収入：6,675、補助金等収入：92,700、負担金収入：99,000、寄付金収入：2,000、他事業繰入金収入：12,711、特定資産取崩収入：26,233

(令和元年度・決算) 事業収入：70,278、立替収入：11,785、補助金等収入：96,312、負担金収入：74,000、寄付金収入：1,985、雑収入：481、他事業繰入金収入：12,711、特定資産取崩収入：32,707

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計		支出	収支差額
前々 年度	当初 予算	600,363	165,160	484,138	備考のとおり	1,249,661	1,249,661	0	
	決算	600,363	165,914	483,711	備考のとおり	1,249,988	1,252,485	-2,497	99.80%
前 年度	当初 予算	600,363	176,160	352,948	備考のとおり	1,129,471	1,129,471	0	
	決算	600,363	228,107	512,063	備考のとおり	1,340,533	1,290,712	49,821	103.86%
令和元 年度	当初 予算	616,481	195,870	655,616	備考のとおり	1,467,967	1,467,967	0	
	決算	616,481	202,533	871,523	備考のとおり	1,690,537	1,680,183	10,354	100.62%

## &lt;備考&gt;

## 【その他収入の内訳】

(前々年度・当初予算) 事業収入：402,716、立替収入：2,822、補助金等収入：50,000、寄付金収入：3,500、雑収入：100、他事業繰入収入：1,000、特定資産取崩収入：24,000

(前々年度・決算) 事業収入：389,264、受託収入：500、立替収入：9,725、補助金等収入：49,157、負担金収入：3,401、寄付金収入：3,500、雑収入：300、他事業繰入金：1,000、特定資産取崩収入：26,864

(前年度・当初予算) 事業収入：233,025、立替収入：1,966、補助金等収入：46,000、寄付金収入：6,900、他事業繰入収入：500、特定資産取崩収入：64,557

(前年度・決算) 事業収入：343,243、受託収入：1,755、立替収入：11,172、補助金等収入：53,748、負担金収入：31,103、寄付金収入：3,537、雑収入：1,584、他事業繰入金：500、特定資産取崩収入：65,421

(令和元年度・当初予算) 事業収入：490,622、立替収入：1,720、補助金等収入：53,500、負担金収入：1,500、寄付金収入：3,500、他事業繰入収入：39,201、特定資産取崩収入：65,573

(令和元年度・決算) 事業収入：675,332、受託収入：5,121、立替収入：3,446、補助金等収入：52,949、負担金収入：3,058、寄付金収入：3,473、雑収入：431、他事業繰入金：39,201、特定資産取崩収入：88,512

## 〔 合計 指定管理業務 〕

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々 年度	当初 予算	1,166,299	264,510	563,032	備考のとおり	1,993,841	1,993,841	0	
	決算	1,166,299	271,840	570,524	備考のとおり	2,008,663	1,966,021	42,642	102.17%
前 年度	当初 予算	1,217,666	404,368	758,761	備考のとおり	2,380,795	2,380,795	0	
	決算	1,217,666	466,446	903,452	備考のとおり	2,587,564	2,491,112	96,452	103.87%
令和元 年度	当初 予算	1,250,838	447,870	979,630	備考のとおり	2,678,338	2,678,338	0	
	決算	1,250,838	437,512	1,171,782	備考のとおり	2,860,132	2,844,980	15,152	100.53%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 0 前年度 / 0 前々年度 / 0

## &lt;備考&gt;

## 【その他収入の内訳】

(前々年度・当初予算) 事業収入: 441,435、立替収入: 9,447、補助金等収入: 81,300、負担金収入: 0、寄付金収入: 5,400、雑収入: 100、他事業繰入収入: 1,350、特定資産取崩収入: 24,000

(前々年度・決算) 事業収入: 438,164、受託収入: 500、立替収入: 14,528、補助金等収入: 78,519、負担金収入: 3,601、寄付金収入: 5,400、雑収入: 598、他事業繰入収入: 1,350、特定資産取崩収入: 27,864

(前年度・当初予算) 事業収入: 327,025、立替収入: 18,433、補助金等収入: 175,200、負担金収入: 130,000、寄付金収入: 8,900、他事業繰入収入: 4,646、特定資産取崩収入: 94,557

(前年度・決算) 事業収入: 438,735、受託収入: 1,755、立替収入: 22,996、補助金等収入: 164,694、負担金収入: 157,967、寄付金収入: 5,454、雑収入: 1,730、他事業繰入収入: 4,646、特定資産取崩収入: 105,475

(令和元年度・当初予算) 事業収入: 575,317、立替収入: 8,395、補助金等収入: 146,200、負担金収入: 100,500、寄付金収入: 5,500、他事業繰入収入: 51,912、特定資産取崩収入: 91,806

(令和元年度・決算) 事業収入: 745,610、受託収入: 5,121、立替収入: 15,231、補助金等収入: 149,261、負担金収入: 77,058、寄付金収入: 5,458、雑収入: 912、他事業繰入金: 51,912、特定資産取崩収入: 121,219

8. 苦情・要望等  該当なし

県民ホール本館

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	文書	1 件	大ホール3階席の左側の空調がうるさくて集中できないので改善してほしい。喫煙場所（山下公園側）の煙が室内（2階以上）に入ってくるので改善をお願いしたい。上記が改善されない限り、今後、同ホールに行くことはない。	大ホール3階席の空調音に関しては、設備の老朽化により音が発生することがあったが、修理により改善した。煙草の煙については、山下公園側の喫煙所（大ホール2階ロビー）は、利用者が多いため十分な事前周知期間を取り、改正健康増進法の全面施行に合わせて令和2年4月から廃止した。
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	電話	1 件	匿名の男性から電話にて「県民ホールの駐車場は、なぜ障がい者割引がないのか。障がい者は車で移動する必要がある。近隣の市役所等は割引/無料となっているのに、障がいに対して配慮がないのではないか。県にそういう意見があったことを伝えてほしい。」との要望があった。	現状では、車で来館する必要のある障がいをもつ方等に対しては、電話予約等によりホール入口に近い駐車スペースを優先的に確保する等を行っているが、ご要望に対しては、今後の運営の参考にしていく。

芸術劇場

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	対面	3 件	<p>①観劇の際、荷物が通路にはみだしていると案内係に注意されたが、自分の荷物ははみだしていなかった。強い怒りを覚える。</p> <p>②開場時、案内係に終演時間を間違えて伝えられたこと。また、対応した案内係の言葉使いに対する強いご意見。</p>	<p>①客席を俳優が通る際の事故防止のため観客の荷物が動線と干渉しないよう見守り及び声かけを行ったものだった。不快感を与えたことをお詫びし、案内係間で声をかける場合の基準を明確にすることを伝え、対応を終了した。</p> <p>②朝礼時に終演時間について全係員に対し改めて確認の徹底。また、当該お客様が、対応した案内係の上司からの謝罪を要求したため、後日郵送で謝罪文を送付し、対応を終了した。</p>
	電話	1 件	<p>③開場時に劇場内での写真撮影を注意されたが、他の観客の撮影行為には声をかけず、ご自身だけがとがめられたことに対するご意見。</p> <p>④「アルトゥロ・ウイの興隆」公演中止に関して、連絡方法や判断のタイミングについて強い口調でのご意見があった。</p>	<p>③禁止行為について適切に対応できるよう、案内係間で改めて認識するとともに、持ち場の階層をまたいで視野を広く持って監視するよう、案内係に指導した。</p> <p>④その場で公演当日の中止発表や連絡が事前に行き届かなかったことについてお詫びし、対応を終了した。</p>
	文書	1 件	<p>⑤「アルトゥロ・ウイの興隆」公演中止によるチケット払戻しについて、払戻し期日の目安が即答できなかったこと、及び手続に時間がかかることについての強いご意見があった。また公演中止に関する出演者の体調管理や、中止の連絡方法についてもご意見があった。</p>	<p>⑤電話で払戻し着金日を伝え、対応したスタッフが答えられなかったことをお詫びし、公演中止決定の経緯については、再度説明し、お客様が納得されたので、対応を終了した。チケット払戻しに関しては、チケットシステム会社と調整し、迅速に処理できるシステムを整えた。</p>
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
(県民ホール) 12月10日	①10日（火）20時40分頃、大ホールにて貸館公演終了後、主催者手配の外部のスタッフが、天井付近のピンスポットルームから舞台への移動のためにキャットウォークを通った際に、キャットウォークから天井裏に降り、そこを突き破って1階客席までおよそ15m転落した。同場所では、以前から落下の危険を掲示した注意喚起のパネルを設置するなど、事前注意を行っていた。 ②同日、県職員が現場で確認。 ③管理事務室より直ちに救急車を要請し、救急隊による措置後、スタッフは病院に搬送された。観客はおらず、他に怪我人等はなく、客席2席の破損を確認した。同時に、警察への通報も行い、21時13分頃に加賀町警察の警察官が到着、現場検証が行われた。また翌11日（水）には、横浜南労働基準監督署による現場検証と事情聴取に立ち会った。現場は、警察の指示により一旦保全されたため、11日（水）の大ホール貸館催事（小学校の記念式典）は、客席の該当エリアを閉鎖して実施。同日夕方に消防署、警察署等との打合せの結果、安全性の確認が取れたため、破損した客席の交換、天井は仮に修復し、12日（木）以降は通常の催事開催が可能となった。 ④なし ⑤原因は主催者手配のスタッフが天井裏に降りたこと。天井の補修は公演主催者が負担。 ⑥なし
(県民ホール) 2月13日	①13日（木）16時55分頃 県美術展事務局から委員・審査員19人に確認事項のメールを送信した。この際に、メールアドレスを非表示（Bcc）で送るべきところを、表示（Cc）した状態で送信していた。 ②同日、電話での連絡。 ③14日（金）9時頃、担当職員がメールをチェックしていたところ、委員の一人からの返信（13日19時頃）で指摘があり、発覚した。その後、お詫びとともに非表示の形式でメールを送り直し、以降返信される場合はこちらのメールにお願いしたい旨を記載した。同時に送信先の委員・審査員に改めて電話連絡。お詫びとともに当初のメールの削除、転送の有無の確認を行った。対象が委員・審査員に限定されていたこともあり、第三者への漏えい等を防ぐことができた。 ④なし ⑤担当職員がメールの一斉送信をする際に、送信先を非表示（Bcc）で送るべきところを、表示（Cc）した状態で送信してしまった。 ⑥なし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年2月26日に横浜南労働基準監督署による立ち入り調査が行われ、以下の点について、是正勧告を受けた。</li> <li>・労働条件通知書に退職に関する事項が記載されていないこと（令和2年3月31日に対応報告済み）。</li> <li>・衛生推進者を選任し衛生に関する業務を担当させること（令和2年5月29日に対応を行い、報告済み）</li> <li>・健康診断結果に異常の所見があった職員について、産業医が就労の可・不可を個人票に記載すること。（令和2年5月31日に対応を行い、報告済み）</li> <li>・月を超えた休日労働の振替の際は、当該休日労働を行った月に一旦、その賃金を支払い、振休取得月に控除すること。（指導票のため、改善のみ）</li> </ul>
職員の配置体制	無	
労働時間	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年2月26日に横浜南労働基準監督署による立ち入り調査が行われ、以下の点について、是正勧告を受けた。</li> <li>・労働協定の特別条項の上限を超えて労働させた月があること（2名：0.5時間～1.0時間超過）。</li> </ul>
職場環境	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年1月28日に横浜南労働基準監督署による立ち入り調査が行われ、以下の点について、是正勧告を受けた。</li> <li>・大ホール客席天井のキャットウォークに労働安全衛生法に基いた中柵等を設けていないこと。（該当箇所について、県で補修工事を実施）</li> </ul>

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

【神奈川県立音楽堂について】

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月3～4回	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>1. 一体運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3館の役割、機能を踏まえて、各施設を運営する。</li> <li>・音楽分野と演劇分野、それぞれに芸術監督を置き、その指導のもと神奈川からの芸術文化の創造・発信を強化する。</li> <li>・県や関係機関と一体となって東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、文化プログラムを推進する。また、子ども・青少年に次世代へ文化芸術の豊かさや多様性を伝えていく。</li> <li>・3館一体で効率的かつ効果的な施設運営を行い、利用者サービスの改善と、利用率の維持・向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜開港祭周辺の臨海部の賑わいに合わせた「オープンシアター」は、3館で様々な公演や参加・体験型企画を実施し、3館合計で、4,599人の来場者を迎えた。3館を面的にとらえ、施設を街へと開く事業展開で県民に向けた芸術文化の普及啓発や多彩な芸術との出会いを提示するとともに、外国人や障がい者等への鑑賞支援を推進した。（詳細は各館普及事業に記載）</li> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関し、全主催事業に、県の文化プログラム認証を受け、また、beyond2020も国の補助金を受けた事業に関し認証を受けることで、オリパラに向けて文化芸術面で機運醸成に貢献した。また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとなるよう、3館すべての共通ロビーやホールロビー等に、障がいを持つ方や日本語を母語としない方、外国人観光客等が必要な情報を自由に入手することができるよう、誰もが使えるWi-Fi環境を整備した。</li> <li>・3館一体では、県民ホール、芸術劇場及び音楽堂のそれぞれの特性を生かした貸館事業を行い、県民の方々へ主催事業だけではなく、芸術分野の鑑賞機会を提供するとともに、発表の場として利用していただく施設運営を行い、高い利用率を維持している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する県からの依頼に従った主催事業等の中止、貸館催しの自粛依頼により、3月はすべての催し物が中止となった。これにより、年間の利用率に影響があった。年間の利用率88.2%の見込みだったが、3月の利用が0件となったことから年間利用率は減少し、80.9%となった。</li> </ul>	

<p>2. 適切な管理運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料収入増及び経費の節減に努めるとともに、サービスの向上に取り組むなど適切な管理運営に努める。</li> <li>・また、防犯、防災対策、安全対策にも取り組んでいく。</li> </ul>	<p><b>【利用料収入の増の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年5月までの休館の間も開館後の利用を確実に確保したため、利用は好調に推移し、利用料金収入を維持することができた。また、横浜フィルムコミッション等と連携し、公演の利用がない日に撮影の利用を受け入れた。</li> </ul> <p><b>【経費節減の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi環境整備は、3館全体で契約、運用することで効率化と経費節減を同時に図った。</li> <li>・チケットセンターにおいては、3月に新型コロナウイルス感染症等の影響で多数の主催事業公演の払戻しが発生したが、委託先であるチケットシステム会社との調整により、3館一体での大口顧客として、有利な条件（節減効果のある払戻し方法の活用）を可能とすることができた。</li> </ul> <p><b>【防犯・防災・安全対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のテロ対策試行として、自主事業の際、766名の入場者に対し手荷物検査を行った。検査は、警備会社に委託し、女性の警備員を含めた5名体制で実施。手荷物検査はスムーズに進行し、トラブル等はなかった。今後は、荒天時の実施方法などの課題を検討していく。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、館内にアルコール消毒液の設置、マスク着用、来場者への注意喚起や次亜塩素酸による消毒、換気を実施した。また、利用手続きの感染防止対策として、利用手続きについては、来館によらない方法を探り、利用者、来館者の感染防止に取り組む等、来場者及び利用者の感染防止を図った。</li> </ul>	
---	--	--

<p>3. 自主的な企画事業について</p> <p>●芸術文化創造振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館65周年、改修工事リニューアルオープンを機に、県立音楽堂のプレゼンスを再び高める。</li> <li>・「優れた音響」「音楽ホールとしての伝統」「文化遺産的建築」という、音楽堂が持つ優れた資産を最大限に活用する。</li> <li>・室内楽に重点を置き、独自性と質の高さを保ったクラシック音楽を主としたプログラムで、レギュラーラインナップ（ヴィルトゥオーゾシリーズ、アフタヌーン・コンサート）を開催する。</li> <li>・65周年記念企画及びオリパラ記念企画として、「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」をスタート。国際性、発信性の強いバロック・オペラと現代オペラの2本を実施する。</li> <li>・令和元年9月に整備された音楽堂前広場でのイベントとの連携等を通じて、文化の杜・紅葉ヶ丘としてのブランド形成を目指す。</li> </ul>	<p>65周年記念企画及びオリパラ記念企画</p> <p>「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」の現代オペラ「サイレンス」日本初演は、映像やセリフなどを効果的に使った緊張度の高い舞台で音楽、映画、演劇界と多様な方面から高い評価を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バロックオペラ「シッラ」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる県からの自粛依頼のため、舞台稽古開始時点で中止となった。大変珍しい作品上演であることや高い完成度が予想されたことから、観客、マスコミ、音楽界関係者全般から再度上演機会の実現を望む声が多く寄せられた。</li> <li>・「ヴィルトゥオーゾ・シリーズ」は4回全てが音楽堂初登場の演奏家であったが、中でもアルディッティ弦楽四重奏団とダンサー兼振付家の小尻健太による舞台は、クラシック演奏の新しい形を示した。また、新たな取組として、近隣の店などで講師が参加者とともにお茶を飲みつつ公演の聴きどころを解説する「街なかトークカフェ」を行い、地域と連携した音楽ホールとしての魅力発信を行った。</li> <li>・本年度から主催公演の開場時間に合わせ、JR桜木町駅からの無料シャトルバスの運行を行った。</li> <li>・紅葉ヶ丘近隣の公立文化施設五館が連携した「紅葉ヶ丘まいらん&lt;伝統、アート、たてももの、ちょっとマルシェでスタンプラリー&gt;」10月10日（木）～14日（月祝）で実施し、参加公演が台風で中止となる中、80名が参加した。</li> </ul> <p>主催事業 [9事業／9演目6公演11企画9回 入場者数4,331人]</p> <p>共催公演 [14事業／14演目26公演 入場者数 18,644人]</p> <p>*令和元年東日本台風の特別警報の影響により、10月12日「古楽アンサンブルアントネッロ」と関連企画のマルシェが中止、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための県からの依頼に従い、2月29日から3月1日の「シッラ」、20日の「ブルーオーロラサクソフォン・カルテット」が中止となった。</p>	
---	---	--

<p>●芸術文化鑑賞普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽芸術に触れる喜び、またそこに至るには様々なアプローチがありうることを、子ども青少年に重点を置きつつ、幅広い年齢層の方々に届ける。</li> <li>・遠方で音楽堂に来ることが難しい地域でアウトリーチを行うことにより、音楽ホールへの最初の扉を開く。</li> <li>・音楽堂のミッションとして掲げた「子どもたちへの音楽体験の提供」をテーマに、鑑賞普及事業に継続して取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月1日のリニューアルオープンに合わせた「オープンシアター」は、入場無料、出入り自由で、乳幼児から大人まで幅広い層を集め、館全体を使って実施した。来館者参加型パフォーマンス、ワークショップ、音楽堂の建築や改修についての講演など音楽と建築の両面で多彩な取組を行った。地域の外部セクターと連携し、手話通訳の配置や多言語対応とともに開かれた音楽堂を目指した催しを実施した。</li> <li>・「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ！」は対象年齢を5歳からとし小学生まで無料とすることで入場者数を増加させた。指揮者による解説付きのリハーサル見学、体験企画を展開し、その成果を公演にも活用する等、参加型要素を強化し実施した。</li> <li>・例年実施している特別支援学校や小学校等へのアウトリーチ事業は、学校へのヒアリングに基づき、例年の伝統楽器の箏や、打楽器の他、木管五重奏など多様な音楽に親しむコンサートやワークショップを行った。</li> <li>・改修により建築としての価値が高まったことから、ボランティアグループbridgeによる「前川建築見学ツアーin音楽堂」を開始し、年間で5回実施した。 (予定は8回) [4事業／4演目5公演・23企画42回 入場者数4,193人]</li> <li>※「前川建築見学ツアーin音楽堂」は、令和元年東日本台風の特別警報の影響により、10月12日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための県からの依頼に従い、2月29日、3月20日が中止となった。</li> </ul>	
---	---	--

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
リフレッシュ・サービス	自主事業公演等開催時に、来館者へのサービスとして、ホワイエで県内福祉作業所の焼き菓子や飲み物等の販売を行った

## 5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	184,821	6,948	125,897
対前年度比		3.8%	1812.0%
目標値	166,000	0	138,333
目標達成率	111.3%	-	91.0%

目標値の設定根拠： 経営改善目標

利用者数の算出方法（対象）： 主催事業は指定管理者が確認、共催・貸館事業は主催者からの報告による（対象者：施設への来館者、利用者）

注：音楽堂は、平成30年4月～平成31年3月まで改修工事による全館休館のため、他会場で実施した主催事業の入場者数を計上。令和元年度は、開館準備のため4月、5月休館。

注：令和元年度は、3月のコロナウイルス感染症の影響による利用の取消しのため、利用が0件だったことの影響により、およそ13,800人の入場者数の減少があった。

## 6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口等に常時用紙を備え、管理施設の利用者等に対して、簡便な方法で常時実施するアンケート (2) 詳細アンケート 年1回、時期を定めて、より詳細な質問項目のアンケートを、管理施設の利用者等へのアンケート用紙の配布及び管理施設ホームページにおいて実施し、結果を分析するアンケート	・利用者について 有効回答数は6件であった。 「施設を利用した全体的な印象」、「施設・設備を利用した感想」、「職員の対応」、「事務手続き・料金」については大半が「満足」「どちらかといえば満足」や「良い」「どちらかといえば良い」との回答であることから、概ね評価していただいていることが分かる。 「今後の音楽堂の利用予定」の設問に対しては、「次回の予定が決まっている」が100%、催し物の開催時期についても、「定期的」が100%（ただし、無回答1件）であった。 ・アンケートの回収率の向上のため、使用申込時にアンケートを直接利用者に手渡すなどの対応を行った。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 \_\_\_\_\_ 今回、施設をご利用いただいた全体的な印象をお聞かせください

実施した調査の配布方法 \_\_\_\_\_ 用紙配布 回収数/配布数 \_\_\_\_\_ 6 / 17 = 35.3%

配布(サンプル)対象 \_\_\_\_\_ 公演等の主催者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	5	1	0	0	6	職員の気配りや対応が丁寧だったため。
回答率	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
前年度の回答数	0	0	0	0	0	
前年度回答率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	—	—	—	—		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	181,334	36,000	67,056	備考のとおり	284,390	284,390	0	
	決算	181,334	37,566	73,894	備考のとおり	292,794	287,429	5,365	101.87%
前年度	当初予算	161,551	0	22,141	備考のとおり	183,692	183,692	0	
	決算	161,551	0	36,798	備考のとおり	198,349	186,806	11,543	106.18%
令和元年度	当初予算	221,802	30,556	136,289	備考のとおり	388,647	388,647	0	
	決算	221,802	26,313	102,239	備考のとおり	350,354	350,267	87	100.02%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 0 前年度 / 0 前々年度 / 0

<備考>

【その他収入の内訳】

(前々年度・当初予算) 事業収入：38,400、受託収入：360、補助金等収入：19,966、寄付金収入：1,000、他事業繰入金収入：7,330

(前々年度・決算) 事業収入：42,089、受託収入：310、立替収入：144、補助金等収入：22,300、寄付金収入：1,666、雑収入：55、他事業繰入金収入：7,330

(前年度・当初予算) 事業収入：7,781、補助金等収入：10,500、受託収入：360、寄付金収入：800、立替収入：1,700

(前年度・決算) 事業収入：7,627、立替収入：1,565、補助金等収入：18,015、受託収入：558、寄付金収入：977、雑収入：56、他事業繰入金収入：1,000、特定資産取崩収入：7,000

※平成30年度は1年間、改修工事のため休館

(令和元年度・当初予算) 事業収入：49,033、受託収入：360、立替収入：131、補助金等収入：50,000、寄付金収入：1,000、他事業繰入金収入：6,703、特定資産取崩収入：29,050

(令和元年度・決算) 事業収入：20,995、受託収入：563、立替収入：131、補助金等収入：40,356、寄付金収入：2,207、雑収入：50、他事業繰入金収入：6,703

※4月～5月の2ヶ月間は改修工事のため休館

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	対面	1 件	主催事業の当日券が現金のみの取扱いであることに納得がいかないとご意見があった。	当日券の支払いをチケットカウンターでクレジットで受け付けられるよう、対応フローを整備することとした。

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年2月26日に横浜南労働基準監督署による立ち入り調査が行われ、以下の点について、是正勧告を受けた。</li> <li>労働条件通知書に退職に関する事項が記載されていないこと。（令和2年3月31日に対応を行い、報告済み）</li> <li>衛生推進者を選任し衛生に関する業務を担当させること。（令和2年5月29日に対応を行い、報告済み）</li> <li>産業医から健康診断結果を踏まえ、就労の可・不可を個人票に記載すること。（令和2年5月31日に対応を行い、報告済み）</li> <li>月を超えた休日労働の振替の際は、当該休日労働を行った月に一旦、その賃金を支払い、振休取得月に控除すること。（指導票のため、改善のみ）</li> </ul>
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。